

**製品名: RUFY1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17438**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	80kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RUFY1 RUFY1; RABIP4; ZFYVE12; RUN and FYVE domain-containing protein 1; FYVE-finger protein
別名	EIP1; La-binding protein 1; Rab4-interacting protein; Zinc finger FYVE domain-containing protein 12
遺伝子 ID	80230.0
SwissProt ID	Q96T51
免疫原	抗血清はヒト RUFY1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 139-188

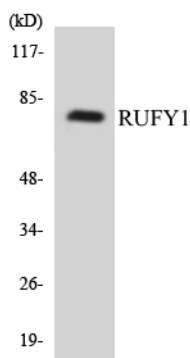
**背景**

RUN および FYVE ドメイン含有遺伝子 1(RUFY1) Homo sapiens この遺伝子は、RUN ドメインと FYVE 型ジンクフィンガードメインを含むタンパク質をコードします。コードされているタンパク質はホスファチジルイノシトール-3-リン酸(PI3P)に結合し、Rab4、Rab5、Rab14 などの低分子 GTPase との相互作用を介して、エンドソームへの輸送、係留、融合の初期段階に関与します。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2011 年 12 月],ドメイン: FYVE 型ジンクフィンガードメインは、ホスファチジルイノシトール 3-リン酸との相互作用を媒介します。機能: ホスファチジルイノシトール 3-リン酸を含むリン脂質小胞に結合し、初期のエンドソーム輸送に関与します。PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。PTM: Tyr-389 および/または Tyr-400 のリン酸化は、BMX との相互作用およびエンドソームへの標的化に必要です。類似性: 1 つの FYVE 型ジンクフィンガーを含みます。類似性: 1 つの RUN ドメインを含みます。サブユニット: BMX と相互作用します。SSB と相互作用する可能性があります。GTP 結合によって活性化された RAB4 および RAB5 と相互作用します。組織特異性: 広範囲に発現しており、肺、精巣、腎臓、脳で最も高いレベルで発現しています。

## 研究分野

エンドサイトーシス;

## 画像データ



RUFY1 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウエスタンブロット分析。